

【開発～導入～運用した作業支援システムの一例】

回路図からの部品表自動生成、回路図／部品表から最善フットプリントの自動選定、各種解析ツール、DMU、3D-CADなど

【差別化のための情報収集の一例】

一部上場企業：6社 ベンダー：12社との技術交流会、大学のモノづくりやPLMの研究会にも参画

【見えてきたこと】

他社でも導入が可能なツールは 差別化の貢献度が低い

便利で効率が上がるツールも 成果は限定的（部分最適化）

特定タスクを支援するツールの活用だけでは

業務の進め方変革/DX/産業の変革には繋がらない